

衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 29. 6. 12 第 193 回国会第 4 号

6 月 12 日（月）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 原子力問題に関する件（原子力規制行政の在り方）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）政策研究大学院大学名誉教授	黒川	清君
政策研究大学院大学客員研究員	石橋	哲君
東京大学大学院総合文化研究科教授	藤垣	裕子君
一般社団法人コンセンサス・コーディネーターズ代表理事	桑子	敏雄君

（質疑者及び主な質疑内容）

中野洋昌君（公明）

- ・新規制基準に基づく適合性審査や原発の再稼働等が行われてきた、東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）事故後 6 年間の原子力規制行政に対する評価を黒川参考人に伺いたい。

考人及び桑子参考人の考えを伺いたい。

- ・原発を再稼働するに当たり、合意が必要な自治体の範囲と、それを決定する主体について、黒川参考人、石橋参考人及び桑子参考人に伺いたい。

足立康史君（維新）

- ・アドバイザー・ボードの設置はもっと早く、本委員会が最初に設置された際に行うべきであったと考えるが、黒川参考人の見解を伺いたい。
- ・我が国の原子力規制の制度を作ってきた自民党と、福島第一原発事故発生当時政権を担当していた民主党の事故に対する責任のウエートについて、黒川参考人及び石橋参考人の見解を伺いたい。
- ・現在の原子力政策の体系を点数で評価するなら何点となるか、黒川参考人に伺いたい。

津島淳君（自民）

- ・フランスの原子力政策における社会的合意形成について、桑子参考人及び藤垣参考人に伺いたい。

土井亨君（自民）

- ・原子力規制委員会の活動状況及び政府、事業者の安心、安全への取組に対する評価及び立法府に期待する取組について、黒川参考人に伺いたい。

木内孝胤君（民進）

- ・原子力損害賠償・廃炉等支援機構の関与により倒産しているはずの東京電力を存続させ、事故の責任を全て負わせるという粉飾の前提を解消して議論を進めないと、行政が恣意的に歪められる懸念があるが、黒川参考人及び石橋参考人に見解を伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・東京電力の対応を始め、我が国に見られる独特な隠蔽体質を踏まえ、規制基準も我が国独自のものとする必要があると考えるが、諸外国の事情を含め、黒川参考人及び藤垣参考人の見解を伺いたい。

藤野保史君（共産）

- ・国会事故調の報告書にも課題が言及されている、原発集中立地地域の事故想定に係る波及的影響の評価と、より厳しい審査基準の導入の必要性について、黒川参考人に見解を伺いたい。

逢坂誠二君（民進）

- ・有効な避難計画が策定されていなければ原発立地地域として不適切とする国際原子力機関（IAEA）の立地審査の基準が日本ではルール化されていない。有効な避難計画の策定ができないのであれば、原発の再稼働はすべきではないと考えるが、黒川参考人、石橋参

阿部知子君（民進）

- ・若い世代への啓発を進める上で、「わかりやすいプロジェクト(国会事故調編)」をどのように活用しているか、石橋参考人に伺いたい。
- ・ドイツでは、社会学者や人類学者等からなる「安全なエネルギー供給に関する倫理委員会」において2022年までの脱原発を決定したが、我が国において科学技術ガバナンスを確立するために何をすべきか、藤垣参考人に伺いたい。
- ・原発の費用に関して、国民とのデータの共有の在り方について、桑子参考人の見解を伺いたい。